

監修

▪ 大西 和子

鈴鹿医療科学大学 客員教授, 三重大学 名誉教授

執筆 (執筆順)

▪ 江口 秀子

鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科成人看護学 教授

▪ 中村 喜美子

鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科成人看護学 准教授

▪ 田中 久美子

鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科成人看護学 准教授

▪ 井上 佳代

鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科成人看護学 准教授

▪ 紀藤 千春

鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科成人看護学 助教

▪ 上田 祥子

鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科成人看護学 助教

表紙・カバーデザイン：(株)中商土地 デザイン室

本文デザイン：青木 隆

映像撮影：亀井宏昭写真事務所

はじめに

本書は、Web動画付き「事例で学ぶ看護過程 成人看護学」の事例集です。この本の前身は、基礎看護学・在宅看護学以外の全看護学領域を網羅するためにPart 1とPart 2の2冊に分けて、2006年12月に初版、2014年9月に第2版を出版しており、多くの使用者から好評を得ています。今回、このように動画付きの事例集として続編ができたこと嬉しく思います。

3年前(2019年)に新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴って、看護学生の臨地実習を担っていただいていた医療機関の感染症対策の一環として、実習ができなくなりました。そのため、急遽学内実習に切り替えて、できるだけ臨地実習に近い形での実習を工夫して行ってきました。

しかし、実際の患者・家族との接触がなく看護場面の臨場感のイメージがし難いこと、コミュニケーション力を培うことが難しいこと、など学内実習における学習制約を感じていました。そこで、看護場面を映像化することで、少しでも学生が実際の看護場面をイメージしやすくすることを考え、動画撮影を行いました。これまでの文章だけの看護過程展開の一場面を取り出し、映像化することにより、学生の視聴覚を通して個人やグループワークでの学習ができるように考慮しました。

本書は成人看護学の事例のみ前版から抜粋し、内容を見なおし、全ての事例に映像場面を入れています。映像に関しては、各事例にQRコードを付けていますので、そこを開いて動画を見ていただくこととなります。是非、活用してくださることを願っています。

この事例集はシリーズにする予定ですので、各領域の看護学事例集も続けて出版されるでしょう。

このコロナ禍で卒業した新卒者の勤務状態についての調査がなされていますが、その中でコミュニケーション力が低いことが話題になっています。これは、看護教育において臨地実習の重要性があらためて示唆されたように思います。

今後、何時このような状況になるかもしれないことを考えると、IT(情報技術)やAI(人工知能)などを活用した看護教育が必要になると思います。すでにシミュレーション教育や遠隔授業教育などが取り入れられており、今後さらに看護の本質を見失うことなく、それらの技術を駆使した看護教育の開発がなされることでしょう。

本書は小さな改善ではありますが、少しでも看護教育に役立つのであれば、たいへん有難く思います。一度、本書を手にとってくださることを願っております。

2022年10月

大西 和子

Webで見られる付属動画の使い方

●動画でわかる看護過程

お使いのブラウザに、下記の URL を入力するか、右の QR コードを読み込むことで、メニュー画面に入ります。希望の動画を選択し、動画を再生します。

製品では
ORコードが
記載されて
います

製品では動画メニュー画面のURLが記載されています

- OS のバージョン、再生環境、通信回線の状況によっては、動画が再生されないことがありますが、ご了承ください。
- 各種のパソコン・端末の OS やアプリの操作に関しては、弊社ではサポートいたしません。
- 通信費などは、ご自身でご負担ください。
- パソコンや端末の使用に関して何らかの損害が生じたとしても、自己責任でご対処ください。
- 動画の配信期間は奥付に示すとおりですが、予期しない事情により、その期間内でも配信を停止する可能性があります。
- QR コードリーダーの設定で、OS の標準ブラウザを選択することをお勧めします。
- 動画に関する著作権はすべて学研メディカル秀潤社にあります。

※閲覧環境：

- パソコン
(Windows または Macintosh)
- Android OS 搭載のスマートフォン
またはタブレット端末
- iOS 搭載の iPhone/iPad など

メインメニュー

- | | | |
|----------------------------|---------------------|-------------------------------|
| 1 直腸がんにより人工肛門造設術を受けた患者の看護 | 5 糖尿病患者の看護 | 9 脳梗塞患者の看護 |
| 2 子宮頸がんにより広汎子宮全摘術を受ける患者の看護 | 6 乳がんにより手術を受けた患者の看護 | 10 頸髄損傷を受けた患者の看護 |
| 3 肺がん患者の看護 | 7 心不全患者の看護 | 11 前立腺がんにより根治的前立腺全摘術を受けた患者の看護 |
| 4 白血病患者の看護（化学療法を含む） | 8 胃がん患者の看護 | 12 肝硬変患者の看護 |

動画の一例

 <p>病後4日目</p> <p>■事例 1</p>	 <p>病前説明（高血圧）</p> <p>■事例 2</p>	 <p>術直後</p> <p>■事例 3</p>	 <p>病状説明後（外傷）</p> <p>■事例 4</p>
 <p>入院2日目（腸胃活動開始）</p> <p>■事例 5</p>	 <p>病後1日目（病室）</p> <p>■事例 6</p>	 <p>病室（入院2日目）</p> <p>■事例 7</p>	 <p>病室（術後2日目）</p> <p>■事例 8</p>
 <p>リハビリ終了後</p> <p>■事例 9</p>	 <p>病室（入院3日目）</p> <p>■事例 10</p>	 <p>病室 術後7日目、手術室からの戻家の看護</p> <p>■事例 11</p>	 <p>病室（入院2日目）</p> <p>■事例 12</p>

事例の情報を、ゴードンの11の機能的健康パターンに分類します。この枠組みを、情報収集のためのデータベースとして、必要な情報を分析・統合してアセスメントし、看護上の問題／看護診断を抽出します。

ゴードンの11の機能的健康パターンに基づく情報の収集と整理

項目	情報の収集と整理
健康知覚・健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 48歳のときに狭心症と診断された。 ● 狭心症について、「先生にすべてお任せするしかない」 ● 定期受診を行い、内服を継続していた。 ● 入院の1週間前から、かぜ症状が出現した。 ● 「軽いかぜならすぐに治ると思って、いつも通りに働いていたんです」 ● 「祖母も狭心症で、何となく病気のことは知っている、そのときはとてもショックだったが、できることをできる範囲でするようにしていた」 ● 「(狭心症と診断されてから)先生の言う通りお薬を飲んで、いろいろ気をつかってたんですけど、こんなことになるなんて、何がいかなかったのかしらね？」 ● 「知らないうちに無理がたつてたのかなあ」 ● 「体重は思いついたときに測っていただけで記録はしていなかった。毎日測ったほうがいいのかしら？」 ● 喫煙や飲酒の習慣はない。 ● 緊急入院、酸素投与開始、末梢持続点滴にて治療(参照)

想定される看護上の問題 / 看護診断

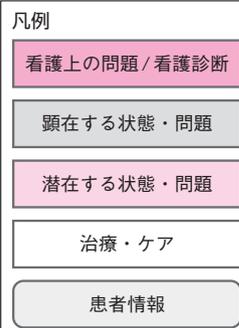
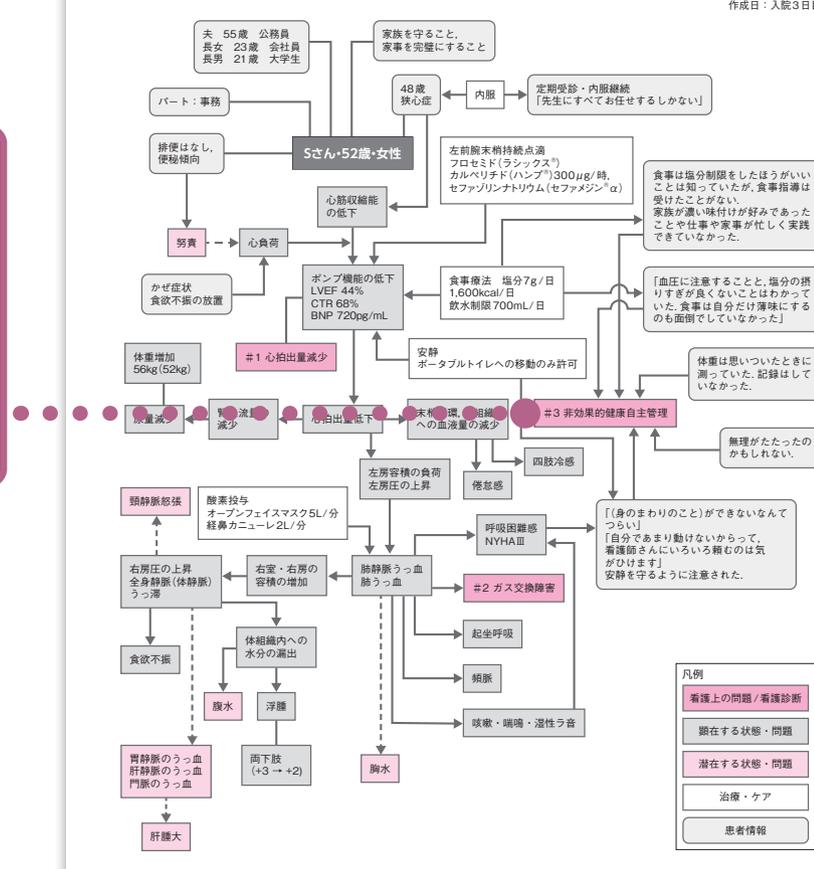
- 心拍出量減少
- ガス交換障害
- 非効果的健康自主管理

ゴードンの11の機能的健康パターン(項目)に分類したなかから、想定される看護上の問題／看護診断を考えてみましょう。

関連図

作成日：入院3日目

必要な情報を関連づけながら、看護上の問題／看護診断を導き出します。演習問題ではありませんが、看護過程を展開する前に自分でも描いてみてください。患者さんの全体像がみえてくるはずですよ。→は関連した経過を、--→は予測を示しています。



ゴードンの11の機能的健康パターンに基づく情報の収集と整理から、看護上の問題に関する必要な情報を分析して抜き出し、それらを統合してアセスメントします。患者さんがかかえる問題を解決する能力を身につけるうえで、最初のポイントとなります。

看護過程の展開

1 看護上の問題/看護診断の抽出

■ 心拍出量減少

情報と解釈・分析

統合のアセスメント

○(客観的情報)

■ 健康知覚・健康管理

- 48歳のときに狭心症と診断された。
- 定期受診を行い、内服治療を継続していた。
- 入院の1週間前から、かぜ症状が出現した。
- 緊急入院
- 酸素投与開始、末梢持続点滴、内服薬にて治療
- 内服治療
- 栄養・代謝

狭心症と診断されているSさんは、潜在的に循環動態変動のリスクをもっているといえる。診断後は内服治療を継続し、日常生活を過ごしていたが、かぜをきっかけに心不全を発症したと考えられる。緊急入院となり、現在酸素投与がされ、安静と薬物療法が行われている。

Sさんの場合、かぜを引き金に心臓への負荷が強まり、左心機能が低下し、心臓のポンプ機能の失調により心拍出量が減少し、肺うっ血となり、呼吸困難などの症状を引き起こしている。また心拍出量の減少は腎血流量の減少をまねき、尿量減少となって現れている。腎血流量が減少すると、Naや水分の再吸収が促進され、体内の循環血液量を増やそうとする代償機能が働く。しかし体内の循環血液量

看護上の問題/看護診断：#3 非効果的健康自主管理

定義(Definition)

- 慢性疾患を抱えた生活に固有の、症状や治療計画の管理、身体・心理社会・スピリチュアル面への影響の管理、ライフスタイル変化の管理が不十分な状態

診断指標(Defining characteristics)

- 疾患徴候の悪化
- 疾患症状の悪化
- 疾患徴候に注意を払わない
- 疾患症状に注意を払わない

関連因子(Related factors)

- 適合するライフスタイル嗜好(家事をがんばってしまう)

(T.ヘザー・ハードマン, 上野雅美, カミラ・タカオ・ロベス原著編集, 上野雅美訳: NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原著第12版, p.167-168, 医学書院, 2021)

看護上の問題に関係する要因と徴候を導き出し、看護診断を確定します。

2 看護上の問題/看護診断の優先順位

心不全による病態のケア

Sさんはかぜの症状が出現するも始めは放置していた。その後症状が強くなり、受診すると緊急入院となる状態であった。さまざまな心不全症状を呈し、心臓の代償機能が破綻していることがうかがえる。このような生命の危機的状況にある時期には、心臓の収縮力を高めるための薬剤や、肺や全身のうっ血を取り除く薬剤、後負軽減のための薬剤の投与が行われる。

「心拍出量減少」とは、まさに病態のひとつであり、それに対してケアすることが、関連する他の症状も緩和することにつながる。#1「心拍出量減少」の看護問題が解決すれば、肺うっ血や浮腫の状態も改善され、

3 看護目標と看護計画の展開

1) #1 心拍出量減少

目標(期待される結果)	計画
<ul style="list-style-type: none"> ◇異常が早期に発見される。 ◇呼吸困難感が改善する。 ◇浮腫が軽減する。 ◇尿量が確保される。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆O-P(観察計画) ◆バイタルサイン <ul style="list-style-type: none"> ● 6時間ごとの観察(医師の指示通り) ● 安静度の拡大により測定間隔を延長する ● 24時間心電図モニター、SpO2値 ◆全身の浮腫の有無・程度 ◆水分出入バランス・体重

看護上の問題/看護診断の優先順位をつけた理由です。なにが重要で、優先すべきことなのかを明確にしています。

看護上の問題/看護診断にあげた患者さんのかかえる問題に対して、標準的で個別的な看護目標・計画を示しています。

学習の振り返り

ここでは、心不全を例に入院3日目までの経過をもとに情報を整理し、看護過程の立案を学習した。Sさんのように心疾患の既往があり心機能が低下している患者では、心不全を発症すると、急激に病状が悪化し、生命の危機状態に陥りやすいことを認識しておくなければならない。そのうえで、病状の変化を予測し、変化に対して迅速、かつ的確に対応する能力を身につけていく必要がある。また、患者さんの苦痛の軽減に努める必要がある。

を参考にして、Sさんにも出現している症状の原因やそれぞれの病態の関連など、根拠を立てながら考えてみよう。

この事例では、Sさんの退院後の生活をみすえて早期から退院指導の計画が立てられている。退院後は、Sさんが正しい生活習慣を維持するだけでなく、人生も楽しめるようにセルフケア能力を高める支援が必要

患者さんの全体像および看護計画の評価を行っています。「学習課題」は、事例についての理解をさらに深めるための課題を示しています。

学習課題(この事例のチェックポイント)

- 1) 右心不全と左心不全の病態生理を説明しましょう。
- 2) 慢性心不全の重症度分類であるNYHAについて説明しましょう。
- 3) 急性心不全の重症度分類であるキリップ(Killip)分類とフォレスト(Forrester)分類について説明しましょう。
- 4) 大動脈内バルーンポンピング(IABP)による治療について説明しましょう。
- 5) 心不全患者の薬物療法の治療目標について説明しましょう。
- 6) 心不全患者の食事療法の注意点について説明しましょう。
- 7) 心不全患者の患者教育のポイントについて説明しましょう。

CONTENTS

1

直腸がんにより人工肛門造設術を受けた患者の看護 …… 2

(江口 秀子)

- 事例紹介…………… 2
- ゴードンの11の機能的健康パターンに基づく情報の収集と整理…………… 4
- 想定される看護上の問題／看護診断… 6
- 関連図…………… 7
- 看護過程の展開…………… 8
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 …… 8
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位 … 10
- 3. 看護目標と看護計画の展開 …… 10
- 学習の振り返り…………… 12

2

子宮頸がんにより広汎子宮全摘術を受ける患者の看護…13

(江口 秀子)

- 事例紹介…………… 13
- ゴードンの11の機能的健康パターンに基づく情報の収集と整理…………… 15
- 想定される看護上の問題／看護診断… 16
- 関連図…………… 17
- 看護過程の展開…………… 18
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 …… 18
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位 … 20
- 3. 看護目標と看護計画の展開 …… 21
- 学習の振り返り…………… 23

3

肺がん患者の看護 …… 24

(中村 喜美子)

- 事例紹介…………… 24
- ゴードンの11の機能的健康パターンに基づく情報の収集と整理…………… 26
- 想定される看護上の問題／看護診断… 29
- 関連図…………… 30
- 看護過程の展開…………… 32
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 …… 32
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位 … 37
- 3. 看護目標と看護計画の展開 …… 38
- 学習の振り返り…………… 40

4

白血病患者の看護 (化学療法を含む) …… 41

(中村 喜美子)

- 事例紹介…………… 41
- ゴードンの11の機能的健康パターンに基づく情報の収集と整理…………… 43
- 想定される看護上の問題／看護診断… 45
- 関連図…………… 46
- 看護過程の展開…………… 47
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 …… 47
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位 … 50
- 3. 看護目標と看護計画の展開 …… 51
- 学習の振り返り…………… 54

5

糖尿病患者の看護 55

(田中 久美子)

- 事例紹介 55
- ゴードンの11の機能的健康パターン
に基づく情報の収集と整理 59
- 想定される看護上の問題／看護診断 62
- 関連図 63
- 看護過程の展開 64
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 64
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位 67
- 3. 看護目標と看護計画の展開 68
- 学習の振り返り 70

7

心不全患者の看護 83

(井上 佳代)

- 事例紹介 83
- ゴードンの11の機能的健康パターン
に基づく情報の収集と整理 86
- 想定される看護上の問題／看護診断 88
- 関連図 89
- 看護過程の展開 90
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 90
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位 93
- 3. 看護目標と看護計画の展開 94
- 学習の振り返り 96

6

乳がんにより手術を受けた
患者の看護 71

(田中 久美子)

- 事例紹介 71
- ゴードンの11の機能的健康パターン
に基づく情報の収集と整理 74
- 想定される看護上の問題／看護診断 76
- 関連図 77
- 看護過程の展開 78
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 78
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位 80
- 3. 看護目標と看護計画の展開 81
- 学習の振り返り 82

8

胃がん患者の看護 97

(井上 佳代)

- 事例紹介 97
- ゴードンの11の機能的健康パターン
に基づく情報の収集と整理 99
- 想定される看護上の問題／看護診断 100
- 関連図 101
- 看護過程の展開 102
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 102
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位 105
- 3. 看護目標と看護計画の展開 105
- 学習の振り返り 107

9

脳梗塞患者の看護 …………… 108

(紀藤 千春)

- 事例紹介…………… 108
- ゴードンの11の機能的健康パターン
に基づく情報の収集と整理…………… 110
- 想定される看護上の問題／看護診断… 111
- 関連図…………… 112
- 看護過程の展開…………… 113
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 …… 113
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位… 115
- 3. 看護目標と看護計画の展開 …… 115
- 学習の振り返り…………… 117

10

頸髄損傷を受けた患者の 看護 …………… 118

(紀藤 千春)

- 事例紹介…………… 118
- ゴードンの11の機能的健康パターン
に基づく情報の収集と整理…………… 119
- 想定される看護上の問題／看護診断… 121
- 関連図…………… 122
- 看護過程の展開…………… 123
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 …… 123
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位… 125
- 3. 看護目標と看護計画の展開 …… 126
- 学習の振り返り…………… 127

11

前立腺がんにより根治的前立腺 全摘術を受けた患者の看護… 128

(上田 祥子)

- 事例紹介…………… 128
- ゴードンの11の機能的健康パターン
に基づく情報の収集と整理…………… 130
- 想定される看護上の問題／看護診断… 132
- 関連図…………… 133
- 看護過程の展開…………… 134
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 …… 134
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位… 136
- 3. 看護目標と看護計画の展開 …… 136
- 学習の振り返り…………… 138

12

肝硬変患者の看護 …………… 139

(上田 祥子)

- 事例紹介…………… 139
- ゴードンの11の機能的健康パターン
に基づく情報の収集と整理…………… 140
- 想定される看護上の問題／看護診断… 141
- 関連図…………… 142
- 看護過程の展開…………… 143
- 1. 看護上の問題／看護診断の抽出 …… 143
- 2. 看護上の問題／看護診断の優先順位… 145
- 3. 看護目標と看護計画の展開 …… 145
- 学習の振り返り…………… 147